

実 用 新 案 公 報

実用新案出願公告

昭29-17360

公告 昭 29.12.28

出願 昭 28.8.26

実願 昭 28-25377

出願人 考案者 飯 塚

宏

東京都中野区野方町2の1403

(全2頁)

噴

霧

器

図 面 の 略 解

図面は本考案による噴霧器内に於ける吸入管及び噴霧口の外觀と容器の縦断側面図を示す。

実用新案の性質、作用及効果の要領

本案は噴射目的薬液と噴射力を与えるための圧縮ガス（液化ガスの場合も含む）が混和し難い場合、或はエアロゾル自動噴霧器に於て従来方式の如く、液化ガスと目的薬液の混合液が弁を通過して後にはじめて気化膨脹して微粒子化されるに對し弁の以前に於てその液化ガスと目的薬液の混合液に気相のガスを混入せしめて噴霧状態を良くするものである。

今図の如く噴射目的液6と噴射力を与えるための気相の圧縮ガス8及び其の液化ガス7が分離して居る場合につき説明せんに、今弁室4を開放す

れば液6は8の圧力にて吸入管3の下端2より押上げられ、噴霧口5より噴射されるが、噴霧状態が良いための最大の条件は気体或は正に気化せんとせる液化ガス或は両者の混合物を噴霧口5を出る瞬間に充分含んで居る事である。

故に本案はその一実施例である此の図の如くに常に気相に露出して居る吸入管3の1個所或は数個所に適当な断面積を有する孔を作り吸入管下端2より押上げられる液6と孔1より管内に流入する気相のガス8が合流して5より良好な状態の噴霧になつて射出されるのである。

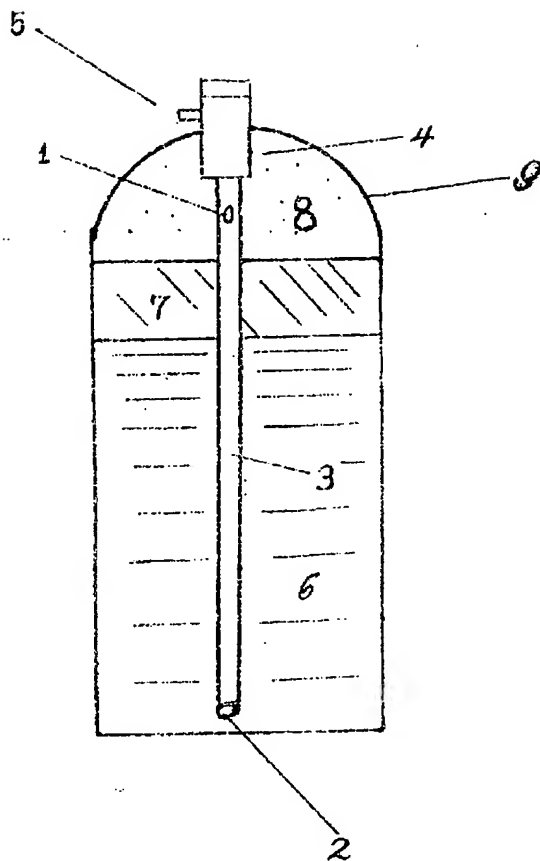
登録請求の範囲

図面に示す如く自圧性噴霧器に於て液体より露出せる上方の一部分に孔1を有する吸入管3を設けてなる噴霧器の構造。

BEST AVAILABLE COPY

(2)

實用新案出願公告
昭29—17360



BEST AVAILABLE COPY